

2025年11月9日 コロサイ3：14－17

説教題 「彼によって父なる神に感謝しなさい」

【今日の説教から】

「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい」、「キリストの言葉を、あなたがたのうちに豊かに宿らせなさい」、そして「あなたのすることはすべて、言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし…」、「いつも感謝していなさい」、「感謝して心から神をほめたたえなさい」、「彼(キリスト)によって父なる神に感謝しなさい」という風に、今日の箇所には3度「イエスキリストによって」「感謝しなさい」との教えが描かれています。

「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい」とは、直訳すれば、「キリストの平和と調和を裁判官・審査員・アンパイア(審判)としてあなた方の心の中に迎えて行動しなさい」となります。いつも心の中に信号を持っていて、これは青信号、黄信号、赤信号と、キリストにある平和と調和が私たちに語り掛けるのです。キリストは常に父なる神様との深い調和を愛して、愛と謙遜という平和に根差して歩んでいらしたことを深く思い、私たちの行動の原理とします。そのようにして、「キリストの言葉を、あなたがたのうちに豊かに宿らせ」、「言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし」していくのです。それが互いに教え訓戒し合う内容であり、そこから父なる神様への感謝と賛美が広がっていくのです。ここには数限りない感謝への道があるのです。

皆様おはようございます。

いよいよ朝晩は寒さを増してまいりました。大霜が降りたというお話を聞くようになりました。朝晩に車で出かける時には窓ガラスが凍っていたというようなことも起こるようになるかもしれません。皆様お元気にお過ごしていらっしゃいましたか。

先週の箇所では美しい言葉が続きました。

3:12 だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔軟、寛容を身に着けなさい。

3:13 互に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。

3:14 これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帶である。

私たちは神様に選ばれた者。聖なる、愛されている者。選ばれ、取り分けられ、愛されている。どうして私を、そんな聖なる御用のために神様はお選びになられ、精銳部隊の仲間入りをさせていただいたのでしょうか。ここには愛があり、ここにはあわれみの心、慈愛、謙そ

ん、柔軟、寛容があります。まず初めに神様がそれらを私たちに注いでくださったのです。

1コリント 13:4 愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。

13:5 不作法をしない、自分の利益を求めるない、いらだたない、恨みをいだかない。

13:6 不義を喜ばないで真理を喜ぶ。

13:7 そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

13:8 愛はいつまでも絶えることがない。しかし、預言はすたれ、異言はやみ、知識はすたれるであろう。

1ヨハネ 4:7 愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であって、神を知っている。

4:8 愛さない者は、神を知らない。神は愛である。

4:9 神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

4:10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

4:11 愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

4:12 神を見た者は、まだひとりもない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

ローマ 5:1 このように、わたしたちは、信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。

5:2 わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

5:4 忍耐は鍊達を生み出し、鍊達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

5:6 わたしたちがまだ弱かったころ、キリストは、時いたって、不信心な者たちのために死んで下さったのである。

5:7 正しい人のために死ぬ者は、ほとんどいないであろう。善人のためには、進んで死ぬ者もあるいはいるであろう。

5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことに

よって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

ヨハネ 15:12 わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。

15:13 人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

15:14 あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

15:15 わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。

15:16 あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。

そして、あなたがたを立てた。それは、あなたがたが行って実をむすび、その実がいつまでも残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。

15:17 これらのことを行つるのは、あなたがたが互に愛し合うためである。

神様がいわばイニシアチブをとって、神様の方から最初に私たちを愛してくださいました。それによって私たちに愛が分かったのです。

1 ヨハネ 3:9 すべて神から生れた者は、罪を犯さない。神の種が、その人のうちにとどまっているからである。また、その人は、神から生れた者であるから、罪を犯すことができない。

3:10 神の子と悪魔の子との区別は、これによって明らかである。すなわち、すべて義を行わない者は、神から出た者ではない。兄弟を愛さない者も、同様である。

3:11 わたしたちは互に愛し合うべきである。これが、あなたがたの初めから聞いていたおとずれである。

3:12 カインのようになってはいけない。彼は悪しき者から出て、その兄弟を殺したのである。なぜ兄弟を殺したのか。彼のわざが悪く、その兄弟のわざは正しかったからである。

3:13 兄弟たちよ。世があなたがたを憎んでも、驚くには及ばない。

3:14 わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からいのちへ移ってきたことを、知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている。

3:15 あなたがたが知っているとおり、すべて兄弟を憎む者は人殺しであり、人殺しはすべて、そのうちに永遠のいのちをとどめてはいない。

3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

コロサイ 3:12 だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔軟、寛容を身に着けなさい。

3:13 互に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。

3:14 これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帶である。

だから、私たちは神様から選ばれたものとして、聖なる、愛されたものとして、神様が私たちになしてくれたように、愛を分かち合っていくのです。私たちが召されたのは、そのためです。

コロサイ 1:13 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

1:14 わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

1ペテロ 2:9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の國、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべき光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

1ペテロ 2:22 キリストは罪を犯さず、その口には偽りがなかった。

2:23 ののしられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。

2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかるて、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

2:25 あなたがたは、羊のようにさ迷っていたが、今は、たましいの牧者であり監督であるかたのもとに、たち帰ったのである。

ヨハネ 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

1:2 この言は初めに神と共にあった。

1:3 すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。

1:4 この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。

1:5 光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。

マタイ 28:18 イエスは彼らに近づいてきて言われた、「わたしは、天においても地において

も、いっさいの権威を授けられた。

28:19 それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

28:20 あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

3:14 これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帶である。

3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたが召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。

愛は全てを完全に結ぶ帶。

3:11 そこには、もはやギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開の人、スクテヤ人、奴隸、自由人の差別はない。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにいますのである。

違いを乗り越え、立場を乗り越え、神様の愛によって一致連帯、実に混然一体となって組み合わされて一つ身体としての有機体、共同体とされる。それが私たちの家族であり神の家であり、神の身体である教会なのです。

ローマ 12:9 愛には偽りがあつてはならない。惡は憎み退け、善には親しみ結び、

12:10 兄弟の愛をもつて互にいつくしみ、進んで互に尊敬し合いなさい。

12:11 熱心で、うむことなく、靈に燃え、主に仕え、

12:12 望みをいだいて喜び、患難に耐え、常に祈りなさい。

12:13 貧しい聖徒を助け、努めて旅人をもてなしなさい。

12:14 あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福して、のろってはならない。

12:15 喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

12:16 互に思うことをひとつにし、高ぶった思いをいだかず、かえって低い者たちと交わるがよい。自分が知者だと思いあがつてはならない。

12:17 だれに対しても惡をもつて惡に報いず、すべての人に対して善を図りなさい。

12:18 あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごしなさい。

12:19 愛する者たちよ。自分で復讐をしないで、むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、「主が言われる。復讐はわたしのすることである。わたし自身が報復する」と書いてあるからである。

12:20 むしろ、「もしあなたの敵が飢えるなら、彼に食わせ、かわくなら、彼に飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃えさかる炭火を積むことになるのである」。

12:21 惡に負けてはいけない。かえって、善をもつて惡に勝ちなさい。

ガラテヤ 6:1 兄弟たちよ。もしもある人が罪過に陥っていることがわかったなら、靈の人であるあなたがたは、柔軟な心をもって、その人を正しなさい。それと同時に、もしか自分自身も誘惑に陥ることがありはしないかと、反省しなさい。

6:2 互に重荷を負い合いなさい。そうすれば、あなたがたはキリストの律法を全うするであろう。

これが神様の愛という帶をもって一つにされた共同体に生きる私たちの生き方です。そしてその生き方が、神様の創られた世界全体に広がっていくようにとの祈りが私たちの祈りです。

3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたが召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。

キリストの平和があなた方の心を支配するように。

支配するという言葉は、野球の審判が一球一球のボールをストライクとか、ボールとか審判するように、裁判官が法律を厳格に守って裁定をするように、厳密なる決まりのもとに自ら服するということです。そのルールが、「キリストの平和」なのです。

平和という言葉には、平和、調和という意味があります。平和という言葉は、平安という意味をも含むことでしょう。キリストはこの平和を得させるために

エペソ 2:11 だから、記憶しておきなさい。あなたがたは以前には、肉によれば異邦人であって、手で行った肉の割礼ある者と称せられる人々からは、無割礼の者と呼ばれており、

2:12 またその当時は、キリストを知らず、イスラエルの国籍がなく、約束されたいろいろの契約に縁がなく、この世の中で希望もなく神もない者であった。

2:13 ところが、あなたがたは、このように以前は遠く離れていたが、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近いものとなったのである。

2:14 キリストはわたしたちの平和であって、二つのものを一つにし、敵意という隔ての中垣を取り除き、ご自分の肉によって、

2:15 数々の規定から成っている戒めの律法を廃棄したのである。それは、彼にあって、二つのものをひとりの新しい人に造りかえて平和をきたらせ、

2:16 十字架によって、二つのものを一つのからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまったのである。

2:17 それから彼は、こられた上で、遠く離れているあなたがたに平和を宣べ伝え、また近くにいる者たちにも平和を宣べ伝えられたのである。

2:18 というのは、彼によって、わたしたち両方の者が一つの御靈の中にあって、父のみもとに近づくことができるからである。

2:19 そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。

コロサイ 1:19 神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、

1:20 そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。

1:21 あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。

1:22 しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。

1コリント 7:15 …神は、あなたがたを平和に暮させるために、召されたのである。

キリストの平和。友のためにいのちを捨てる、その方の愛と贖いによって私たちは神様との平和を手にしました。イエス様は仕えられるものではなく仕える者として、その愛を余すところなく表してくださいました。私たちも、そのイエス様の平和と調和の心を旨として生きていきたいのです。そして私たちは愛の帯で結ばれ、その平和と調和の中にあってあふれるばかりに感謝するのです。

コロサイ 2:6 このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受けいれたのだから、彼にあって歩きなさい。

2:7 また、彼に根ざし、彼にあって建てられ、そして教えられたように、信仰が確立されて、あふれるばかり感謝しなさい。

2:8 あなたがたは、むなしいだましごとの哲学で、人のとりこにされないように、気をつけなさい。それはキリストに従わず、世のもろもろの靈力に従う人間の言伝えに基くものにすぎない。

2:9 キリストにこそ、満ちみちているいっさいの神の徳が、かたちをとって宿っており、

2:10 そしてあなたがたは、キリストにあって、それに満たされているのである。

3:16 キリストの言葉を、あなたがたのうちに豊かに宿らせなさい。そして、知恵をつくして互に教えまた訓戒し、詩とさんびと靈の歌とによって、感謝して心から神をほめたたえなさい。

キリストの言葉を宝として、そのみ教えと諭しの中に生きたいのです。

ヨハネ 8:31 イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。

8:32 また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。

ヨハネ 15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながつており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

15:6 人がわたしにつながっていないならば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。人々はそれをかき集め、火に投げ入れて、焼いてしまうのである。

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

15:8 あなたがたが実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。

15:9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛したのである。わたしの愛のうちにいなさい。

15:10 もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。

そして、知恵をつくして互に教えまた訓戒し、詩とさんびと靈の歌とによって、感謝して心から神をほめたたえなさい。

ですから私たちは、そのいのちの御言葉をしっかりと握って、互いに助け合い、励ましあって、感謝と賛美の命の中に生かされることを願いましょう。

ヨハネ 6:33 神のパンは、天から下ってきて、この世に命を与えるものである」。

6:34 彼らはイエスに言った、「主よ、そのパンをいつもわたしたちに下さい」。

6:35 イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。

6:68 シモン・ペテロが答えた、「主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。

6:69 わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています」。

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。

14:7 もしあなたがたがわたしを知っていたならば、わたしの父をも知ったであろう。しかし、今は父を知っており、またすでに父を見たのである」。

ピリピ 2:12 わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。

2:13 あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

2:14 すべてのことを、つぶやかず疑わないで下さい。

2:15 それは、あなたがたが責められるところのない純真な者となり、曲った邪悪な時代のただ中にあって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。

2:16 このようにして、キリストの日に、わたしは自分の走ったことがむだでなく、労したことでもむだではなかったと誇ることができる。

2:17 そして、たとい、あなたがたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう。あなたがた一同と共に喜ぼう。

2:18 同じように、あなたがたも喜びなさい。わたしと共に喜びなさい。

3:17 そして、あなたのすることはすべて、言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい。

「いっさい主イエスの名によってなし」、これが私たちの目標です。

ヘブル 12:1 こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

12:2 信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

12:3 あなたがたは、弱り果てて意気そそうしないために、罪人らのこのような反抗を耐え忍んだかたのことを、思いみるべきである。

エペソ 4:12 それは、聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

4:13 わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。

キリストの平和によって生きる。キリストの言葉によって生きる。何をするにもキリストによって生きる。これが私たちにとって三拍子の感謝と賛美との生き方に導くものです。私たちにこのような素晴らしい恵みと救いと感謝を与え、満たしてくださるお方に感謝の祈りを捧げましょう。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。キリストの平和、

キリストの言葉に守られ、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって導かれ、教え合い、助け合い、感謝から感謝、讃美から讃美へと私たちの生活が導かれますことを、本当にありがとうございます。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン